

報告日 令和7年2月26日
報告回次 3日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大石田町地域おこし協力隊			代表者名	梶島一
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	まちづくり推進課	連絡先電話番号	090-4560-8745
担当者役職	会計年度任用職員	担当者氏名	梶島一	連絡先E-mail	
住所	999-4112 山形県大石田町緑町1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	ICT周遊型・高付加価値観光コンテンツ開発の支援事業		
概要	ICTを活用した市内周遊型の観光体験商品（ご当地マダーミステリー）の企画開発支援				
支援を求める分野	地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年2月25日	支援・助言(オンライン)	16時00分	17時00分	
				活動時間(分)	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	3日目はオンラインによるフィードバックや今後の展開の可能性などの共有をして頂いた。具体的な内容があったり、役場と協力隊である私がどういう風に取り組みとやりやすいかなどこちら側の意見もきちんと吸い上げてくれるのもあり有意義な時間を過ごせたので大変良かった。
アドバイザーへの要望事項	要望事項は特にはないです。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	1人
	自治体職員	企業・団体	その他(学生など)
人数	1	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	実際に体験会をしてみても問題点である、①誰に向けてやるか②誰が主体となって取り組み担当などになるか③内容の改善点(使うアイテムを少なくする・ルールをもっとシンプルにする・周遊型ならキャストの問題・宿泊なら提携場所)などをクリアにしていってうえて、予算を次年度以降で組み、町として取り組んでいけるかを動いていく必要があると感じた。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	大石田町としては基本的に毎年協力隊の募集も行っており、その業務の1つとして設定し移住者をまず引き込みたい。また、東北での初の試みにもなるので地域のロールモデルとなり認知度・注目度を上げていく。すでにやっている文化事業「大石田AIR」との連携も密にしていき、地域おこしアートやエンタメが可能性を示し、エンタメに触れる観光客・仕事をもらえるアーティスト・町の魅力や関係人口が増えて経済効果を得られる地域住民の構図がきちんと成り立つようにしたい。エンタメホテルなどを作ることを1つの集大成として、古民家などの活用をしていきたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	まず今後の進め方として、協力隊を実際の担当として動いていくようにして役場を巻き込んでやっていける形が持続化させやすいと聞いた。すでに演者となりうる人材が大石田町や関係者に多いのもあり、スモールスタートで開始していける事業を始めていきます2年程行えるように馴染ませていく。そしてそれと並行して、IPを活用した企画も準備を進めていき、経験が十分に出来てきた演者とのよりクオリティの高いイマーシブとIPの企画を進めていけるのではという提案を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	IPに関しては時間がかかるのと、絶対的に押しすすめていける訳ではないとの事で、まずは2年地域や関係者も含めての経験値を上げていくことをしていく。そして国内外のイマーシブ層への認知を上げていく事を念頭に持続させていくことが必要だと理解できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 協力隊の業務として他地域と差別化もしやすく、その点だけでも魅力となりうる取り組みだと感じた。まだこれから企画を提案して貰うので具体的な成果物はないが、映像での取り組みドキュメントをコンテンツ化したり、大石田AIRの公演やイベントとの親和性も改めて高いと認識できたので、可能性の部分でかなりの期待感を得ることが出来た。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	あくまで今回は「マダー・ミステリー体験説明会」が1番の取り組みだったので、今後取り組むための予算組みや役場との連携がきちんとシステム化されていかないと厳しいと感じ、まだそこに至るまでの手配や共有などは出来なかった。地域を絡めていく企画にもなるが、今回の説明体験会では地域の方の参加が少なかったため理解を得られるよう、そして目的や利益などもきちんと提示していく事をしないといけない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 https://docs.google.com/spreadsheets/d/1htJihOcfJ8SPF8_dQE2Da9Wiq9qk69hp30312cB00o/edit?gid=1422605502#gid=1422605502	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 役場の主に2つの課と協力隊でチームを組み、企画や予算を通す。そしてスモールスタートで周遊型と宿泊型でのスタートをする。2年程行い、地域の理解・演者の経験値などを上げていき、地域おこしの1つの取り組みとして確立させていく。その後IP活用や、古民家や空き家も活用した企画を展開していく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	銀山温泉の経由地でしかなかった大石田町に滞在・観光・移住(二拠点生活)・経済(仕事も含めて)に関わる人口を増やす。地域への還元として経済や認知度・アーティストの新たな活躍の場を増やし、地方との接点を作る動きのロールモデル化・空き家を活用しイマーシブホテルなどを作って確立、定着させる。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可 掲載可

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

